

令和5年度 第3回まちづくりミーティング

日時：令和6年2月22日（木）14：30～15：30

場所：夜久野ふれあいプラザ 研修室

団体：ふくちやま自伐型林業推進協会

○主な話し合いの内容

市長（あいさつ）： 福知山の森林は、森林率が75%以上あり人工林はそのうち半分程度あるが、10年以内に施業が入っている森林は非常に少ない。

一方で森林の機能は、二酸化炭素吸収源や水源かん養機能など非常に多くある。この多様な機能により恩恵を受けているものの、「森林」を身近に感じるができないように思う。

自伐型林業により森林に関わっていただいていることは非常にありがたいと思っている。

団体：～団体の活動紹介、メンバーの自己紹介～

団体： 自伐型林業の施業方法の紹介、林業の紹介、団体メンバー自己紹介

市内の森林の中には、整備が必要な森林が非常に多くあることをはじめ、様々な「困りごと」に着目して、ビジネスチャンスを探っていきたいと考えている。

自伐型林業に取り組みだして、道づくりをする中でハマっており、施業をしたいが、山の確保に苦勞をした。

【意見交換】

市長： 林業に関して、木材価格がピーク時と比較すると大きく下落しており生業として苦勞されていると考える。一方で森林の機能は多くあり重要であることから、国の林業施策も多々展開をされている。そういった中、自伐型林業に取り組みされる方が、市内にたくさん現れ森林整備の面積が広がっていくことは非常にありがたいと考える。そのために市としても作業道設置の補助金や研修を実施することで支援していきたいと思う。

林業は非常に長いスパンで考える必要があり、長伐期の施業であれば、自分の代で完成しないことになると思う。若い方が夢や希望をもって、参入するためには、一緒になってモデルを作っていく必要があると思うが、市にどのようなことを求めるか。

団体： 生業として、安定した収入が確保できるか重要になってくるが、「林業」だけで

考えると、木材価格が低迷している中で安定した収支が合わないと考えている。

林業を地域活性化の起爆剤として、山の周りで収入源となる仕組みも作っていくことが必要と考えている。

市長： 例えば 10 年後、そのまた 10 年後というように先々のことを考えて、ぜひ挑戦してほしいと考える。

団体： 様々な分野と連携して人を集めることができるように進めていきたい。

市長： 地元の山を活用されるとのことなので、「その地元で慣れ親しまれている」例えば郷土料理等と連携したりすると面白いかもしれない。ぜひ頑張してほしい。

団体： 今は施業している山をどのような山に育てていくかを考えながら活動をしている。今あるヒノキ林は、植林された当時は先々のことを考えて植林をされたはずであるが、木材価格が低迷した今見ると失敗だったかもしれない。今からは、多間伐で施業をしていく中で災害に強い山を目指し、作業道づくりをしているので作業道を活用して木材を搬出して活用させながら、今後の山づくりを考えていきたいと考える。

市長： 以前からであるが、山のことを考えるときは川上～川下のことまで考える必要があるといわれており、育ててこられた木材を出した後のことも考える必要がある。作業道の補助金制度も設置しているところであり、ぜひ活用していただき、活動していただきたいと考える。

団体： 林業を木材(wood)と木(tree や forest)で分けて考えず、様々な分野で連携して林業を推進していただきたいと考えており、市役所内でも部署の垣根を越えて横展開していただきたいと思う。

市長： 学校給食食器に本市の間伐材を活用して開発したが導入した後も子どもたちに森林の重要性を学んでいただくなど、横展開は非常に重要なことであると考えているので、今後もぜひ取り組んでいきたいと思う

